

光を北方から

令和7年度学校だより第3号

<発行責任者>

北海道旭川盲学校

校長 野本 雅明

令和7年12月25日

よい一年でありました

校長 野本 雅明

年の瀬を迎え、いよいよ2025年も幕を閉じようとしています。この時期になると、「この一年はどんな年だっただろうか」と、しみじみと振り返ることも多いのではないのでしょうか。みなさんにとって、この一年はどのように映ったのでしょうか。よい一年でしたか。それとも、思うようにいかないことの多い一年だったのでしょうか。

私たちは、日々起こる出来事をつい「よいこと」「悪いこと」の二つに分けて捉えがちです。しかし実際には、目の前の出来事が本当によかったのか、あるいは悪かったのかは、時間が経ってみなければ分からないことが多いものです。その時には不運だと思えた出来事が、後になって自分を成長させるきっかけだったと気づくこともあります。逆に、幸運だと喜んでいたら出来事が、後々思わぬ落とし穴となり、苦い経験へと変わってしまうこともあります。

そう考えると、「よい」「悪い」と即座に判断すること自体に、どれほどの意味があるのだろうかと疑問も湧いてきます。出来事そのものに絶対的な価値があるわけではなく、私たちがそれをどう受け止め、どう活かすかによって、その意味は変わっていくものです。さらに、移り変わる状況や心のありようによっても、物事は新たな意味を帯びていくのだと感じます。

だからこそ、目の前の出来事に過度に振り回されることなく、柔らかな視点で受け止め、少しずつでも自分の糧にしていく姿勢が大切なのだと思うのです。・・・とはいえ、私たちはそんなに強くも完璧でもなく、その時々状況や気持ちに左右されてしまいがちなものです。そうした人間らしさも含めて、日々の出来事を前向きに捉え、楽しむことができれば、「いろいろあったけれど、よい一年だった」と思えるのではないのでしょうか。

改めて伺います。みなさん、2025年はどんな一年だったのでしょうか。

さて、旭川盲学校の2025年を振り返ると、子どもたちの成長に驚かされた一年でした。日々成長し、変化していく子どもたちの姿を目の当たりにし、喜びと驚きに満ちた毎日でした。一日として同じ姿の子どもたちはおらず、少しずつ、しかし着実に成長していく様子を見て、「こんなに成長し、変わっていったのか」と感慨深く眺めておりました。

そして、一年の終わりを迎えるにあたり、こうして保護者のみなさま、教職員と共に、子どもたちの成長を語り合い、喜び合えることに大きな幸せを感じております。

まもなく新しい年を迎えます。来たる一年は、どのような年になるのでしょうか。年が明けて3学期を迎えますと、中学3年生はそれぞれの進路実現と卒業の時期を迎え、他の学年の子どもたちは進級を見据えたまとめの時期に入ります。来年の干支は午（うま）年です。駿馬（しゅんめ）のごとく、新しい年を颯爽と駆け抜けていきたいものですね。

今年一年、本当にありがとうございました。みなさま、どうぞよい年をお迎えください。

来年もどうぞよろしく願いいたします。

* 文体連 開催報告と御礼 *

9月11日、12日に当番校として開催いたしました文体連（文化体育連盟大会）は、皆様のご支援とご協力のおかげをもちまして、大成功のうちに終えることができました。心より感謝申し上げます。

1日目、本校の体育館で開催された交歓会では、全道4校との「良き出会いの時間」となり、親睦を深めました。

2日目、体育活動発表は花咲陸上競技場で行われ、生徒たちは緊張感を持って全力で競技に挑みました。昨年以上に多くの観客が集まり、温かい声援が力となりました。ゴール後の笑顔は、会場全体が喜びで満たされる最高の瞬間でした。特に、中学部4名で挑む予定だったリレーでは、お休みの佐々木さんの代わりに小学部の武田さんが出場し、見事に大役を果たしました。バトンがつながり、ゴールする瞬間は多くの拍手に包まれ、チームの強い絆を示しました。

今回の成功は、多くの先生方や学生ボランティア、そして保護者・後援会の皆様による「旭川一丸」の体制あってこそのものでした。改めて深く感謝申し上げます。

来年の文体連は、札幌での開催となります。引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

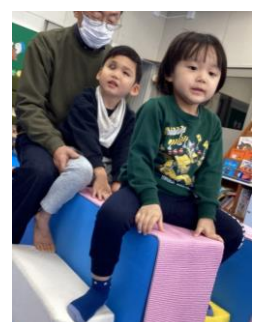


* 幼稚部の様子 *

1学期の様子と比べると、幼稚部3人の関係性ができてきて、友達との関わりの広がりを感じた2学期となりました。

学習発表会では、次に出てくる友達の名前を呼んだり、得意なことを発表している友達を応援したりすることができました。日常の活動の中でも、友達が何をして遊んでいるのか気にしたり、どこにいるか探したりする様子が見られるようになりました。1学期は大好きな先生を独り占めしたい気持ちがありましたが、最近は、友達を誘って一緒に遊びを楽しむこともできるようになりました。

3学期はそり滑りや雪合戦など、冬ならではの遊びを楽しんで、思い出をたくさんつくりたいと考えています。



小学部の様子

2学期に入り、行事等を通して1年生から6年生まで一緒に活動する場面も増えてきました。今年の見学会では、旭川市科学館サイバルに行ってきました。グループに分かれて、溶液と粉末を混ぜ合わせて作る「スライム作り」や重曹とクエン酸を混ぜ合わせて作る「入浴剤作り」の体験をしました。指導員さんの説明をしっかりと聞きながら、量ったり、混ぜたりして上手に作る事ができました。そのほかにも、館内にあるいろいろなものを触ったり、シャボン玉の中に入ったりするなどの体験もしました。それぞれお気に入りの展示を見つけ、とても充実した時間を過ごすことができました。

日々の授業を大切に3学期もみんなで楽しく勉強していきたいと考えています。



中学部の様子

行事もたくさんあり、残暑厳しい2学期でしたが、体調を崩すことなく学習活動に取り組むことができました。2学期最初は文体連でした。今年は旭川開催ということで、花咲陸上競技場を会場に行われました。地の利のメリットを生かし、生徒達は練習の成果を発揮することができました。次に行われたのは職場体験、3年生は福祉サービス事業所に行き仕事をしました。高校卒業後の働く生活をイメージすることができたと思います。1年生は、学校に残って清掃など1日仕事をしました。11月には3年生にとって最後の学習発表会が行われました。今年も劇を行い、日常の学習活動の中から、自分の得意なことを発表することができました。練習の成果を十二分に発揮できたと思います。11月には、インフルエンザに罹患する生徒も出たため、さみしい期間もありましたが、最後は全員が無事に終えることができました。3学期には、3年生の高等部入学選考検査があります。今年は3年生3名が受検に臨みます。体調に気をつけ、実力を発表できるように取り組んでいきます。3月には卒業式を控えて、最後の旭盲での学校生活が充実したものになるよう、一致団結して取り組んでいきたいです。2学期も中学部の学習にご協力いただきありがとうございました。



学習発表会

10月18日(土)に学習発表会が行われました。今年度のテーマ「主役は君だ!光りかがやけ13人の学習発表会」のもと、幼児児童生徒13人の一人ひとりが、光かがやく活躍をすることができました。

幼小小学部の劇「3匹のやぎのがらがらどん」では、小やぎ、中やぎ、大やぎのグループに分かれて、一人ひとりの得意なことを発表しました。それぞれのグループの個性あふれるやぎたちが、一生懸命に発表し、練習の成果を発揮することができました。

音楽発表では、小・中学部でダンスと合唱を発表しました。ダンスは、チアポンポンを持って踊り会場を盛り上げ、合唱は、「アンパンマンのマーチ」を合唱曲バージョンで、皆で歌うことができました。

PTA・地域発表では、「傘のイリュージョン」と中国の伝統芸能「変面」の発表がありました。次々と魔法のように出てくる傘や一瞬のうちにお面が変わる変面の芸に感激しました。

中学部の劇「ひみつの時間割」では、中学部4人の生徒がそれぞれ、得意なことや学習のできるようになったことを発表しました。体育館の走行路を走ったり、体育館後方のトランポリンを跳んだり、体育館全体を使っての見どころが沢山ある発表でした。

最後の「終わりの言葉」では、中学部3年生の3人が仲良く腕を組んで登場し、DA PUMPの「USA」の曲に合わせてダンスを披露してくれました。キレイなダンスに会場内は大盛り上がりで、学習発表会を終えることができました。



PTA親子スケート大会

11月28日(金)に道北アークス大雪アリーナにてスケートリンクを貸し切り、毎年恒例のPTA親子スケート大会が行われました。スケート靴で滑るのが難しいお子さんには、ラピッドスレーというアイスや雪遊び用のそり等で大人に引いてもらいながら、氷上を滑る体験を楽しみました。休憩時には、PTAからお菓子のプレゼントがあり、とても嬉しそうでした。当日は幼児児童生徒・保護者・教員が参加し、笑い声の絶えない楽しい時間になりました。



* 寄宿舎クリスマス会 *

12月17日(水)にクリスマス会がありました。12月に入ってから余暇時間にツリーの飾り付けや折り紙でサンタクロースの制作、アイスキャンドルの制作を行っています。クリスマス会当日は、会が始まる前に寄宿舎玄関にアイスキャンドルを設置し、灯りをつけました。幻想的で暖かい光が寒い冬でも寄宿舎をつつんでくれるようでした。

お楽しみタイムでは、恒例となった舎室対抗のフリフリゲームや玉入れを行いました。学校の先生方も加わり、みんなで体を動かし楽しむことができました。会の最後にはサンタクロースとトナカイが登場し、大きなクリスマスツリーとみんなで遊べるおもちゃ、お菓子セットをいただきました。

その後の夕食では、クリスマス特別メニューをお腹いっぱいいただき大満足な1日となりました。



○北海道教育委員会 生徒指導・学校安全課 HP

「STOP SNS Trouble ポータルサイト」

(<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/l65453.html>)



令和7年度 ほっかいどうライン相談 北海道教育委員会

- LINEを活用した教育相談です。
- あなたの心が楽になるよう抱えている思いや悩みを専門相談員に相談してみませんか。

生徒
の皆さん!



アカウント名
「令和7年度ほっかいどうこどもライン相談」

- 二次元コードから友だち登録をします。
- 名前や学校名の登録は必要ありません。
- 相談内容の秘密は守ります。

相談時間スケジュール

- 2025年
 - ・5月1日～5月12日
 - ・8月6日～9月17日
- 2026年
 - ・1月7日～1月30日
(毎日)
- 2025年 2026年
 - ・5月19日…3月23日
(月曜のみ)



どんな相談でも聴かせてね。

自分のことで困っている。悩んでいる…

誰かに聞いてほしい…

友だちのことで悩んでいる…

進路や将来のことで悩んでいる…

電話やメールの相談はこちらです。

- 電話相談 (24時間対応・無料)

0120-3882-56

(子ども相談支援センター)

- メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp

北海道教育委員会

